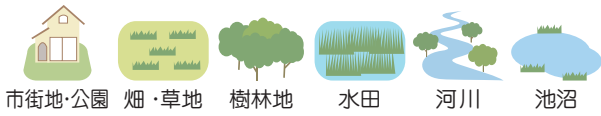


記号・アイコンの説明 (魚類)

大 大きさ   色 体色   食 食べ物   見られる時期   春   夏   秋   冬

外来種区分   特 特定外来生物   外 生態系被害防止外来種   般 外来種 (一般)

生息環境区分



貴重種区分

CR	絶滅危惧 IA類	A	最重要保護生物
EN	絶滅危惧 IB類	B	重要保護生物
VU	絶滅危惧 II類	C	要保護生物
NT	準絶滅危惧	D	一般保護生物
DD	情報不足		

モツゴ (コイ科)



親が卵の世話をするので「持つ子」といいます。流れの緩やかな河川の水草の間などで見られます。口が小さく「クチボソ」とも呼ばれます。

大 6～11cm   色 銀白色

食 底生生物や藻類など

春 夏 秋   D  

ギンブナ (コイ科)



池沼や流れの緩やかな河川などの底近くに生息しています。雌だけで繁殖することができます。成田市では甘露煮などに調理され、名産品の一つとして人気があります。

大 15～30cm   色 緑褐色

食 底生生物や藻類など

春 夏 秋   D  

ドジョウ (ドジョウ科)



水田や湿地などの泥底に生息します。ヒゲは10本で、餌を探すために使われます。えら呼吸のほか、腸でも呼吸することができます。

大 15～30cm   色 茶褐色～灰褐色

食 底生生物や藻類など

春 夏 秋   DD  

ホトケドジョウ (ドジョウ科)



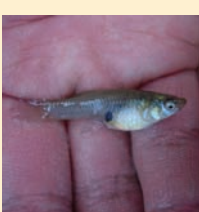
水温が低く流れの緩やかな河川や湿地、水田などに生息し、湧水のある場所に多く見られます。ヒゲは6本とドジョウよりも少なく、体形もずんぐりしているのが特徴です。

大 6cm   色 茶褐色～赤褐色

食 底生生物や藻類など

春 夏 秋   EN C  

カダヤシ (カダヤシ科)



在来種のミナミメダカによく似ていますが、外来種で、尾びれが丸いことで区別できます。卵ではなく直接稚魚を産むため繁殖力が高いことから、ミナミメダカの生息に悪影響を与え、問題になっています。

大 15～30mm   色 灰褐色

食 底生生物や藻類など

春 夏 秋   特  

ミナミメダカ (メダカ科)



流れの緩やかな小川や水路などに生息し、水草に産卵します。身近な小川などで、数多く見られましたが、水路が減ったことや外来種の影響などで数が少なくなっています。

大 35mm   色 灰褐色

食 底生生物や藻類など

春 夏 秋   D  

オオクチバス (サンフィッシュ科)



ブラックバスとも呼ばれる北米原産の外来種です。食用として持ち込まれましたが、現在ではゲームフィッシングの対象種になっています。在来種の魚を捕食するため、問題になっています。

大 30～50cm   色 緑褐色

食 魚類や底生生物

春 夏 秋 冬   特  

ブルーギル (サンフィッシュ科)



オオクチバスと一緒に食用として持ち込まれた北米原産の外来種です。在来種の魚の卵や稚魚の捕食、餌の取り合いといった影響が問題になっています。

大 20～25cm   色 青緑褐色～青紫褐色

食 底生生物や藻類など

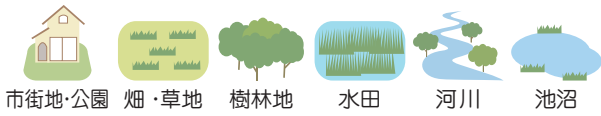
春 夏 秋 冬   特

記号・アイコンの説明 (底生生物)

大 大きさ   色 体色   食 食べ物   見られる時期 春 夏 秋 冬

外来種区分   特 特定外来生物   外 生態系被害防止外来種   般 外来種 (一般)

生息環境区分



貴重種区分

CR	絶滅危惧 IA類	A	最重要保護生物
EN	絶滅危惧 IB類	B	重要保護生物
VU	絶滅危惧 II類	C	要保護生物
NT	準絶滅危惧	D	一般保護生物
DD	情報不足		

環境省レッドデータブック   千葉県レッドデータブック

カワニナ (カワニナ科)

細長い淡水産の巻貝で、比較的冷たくて透き通った水が、安定して流れている川底にいます。ゲンジボタルの幼虫の餌になります。



大 3cm   色 茶色  
食 水底の藻類や落葉  
春 夏 秋 冬

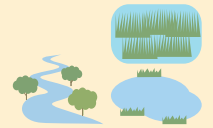


サカマキガイ (サカマキガイ科)

ヨーロッパから来た淡水産の小さな巻貝で、左巻きの殻と、細長い触角が特徴です。少し汚れた水でも生きていけます。ヘイケボタルの幼虫の餌になります。



大 1cm   色 茶色  
食 水底の藻類や落葉  
春 夏 秋 冬 般

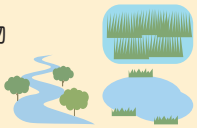


マシジミ (シジミ科)

淡水産の二枚貝で、川底の砂にもぐって生活しています。食用になり、みそ汁などに使われます。

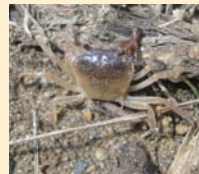


大 3~4cm   色 茶色  
食 水中の細かな有機物  
春 夏 秋 冬 VU A



サワガニ (サワガニ科)

淡水産のカニで、河川上流域の小石や砂が多い場所の石の下などにかくれています。食用になり、唐揚げにして食べることもあります。



大 4~6cm   色 灰褐色~赤茶色  
食 水草や魚の死骸など  
春 夏 秋 冬 C



スジエビ (テナガエビ科)

透き通った体に黒い筋が目立つ淡水産のエビで、水草の間や石の下などにかくれています。肉食性の魚の餌になります。



大 5.5cm   色 透明  
食 ミミズや水草など  
春 夏 秋 冬 D

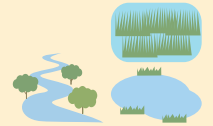


カワリヌマエビ属 (ヌマエビ科)

中国や韓国から来た淡水産のエビで、水草の間や石の下などにかくれています。肉食性の魚の餌になります。体の色や模様には、個体差があります。



大 2~3cm   色 茶色~黒色  
食 水草など  
春 夏 秋 冬 般



アメリカザリガニ (アメリカザリガニ科)

アメリカから来た淡水産のエビで、水草の間や石の下、穴の中などにかくれています。ひもの先にスルメをつけて釣ることができます。



大 10cm   色 灰褐色~赤色  
食 魚や水草など  
春 夏 秋 冬 外



コガタシマトビケラ (シマトビケラ科)

幼虫は、川底にある石と石の間に、粘液でクモの巣のような巣を張り、これにかかった落ち葉や藻類を食べます。成虫は春から夏にかけて出てきます。



大 1cm   色 緑色~茶色  
食 水中を流れてきた落ち葉や藻など  
春 夏 秋 冬

